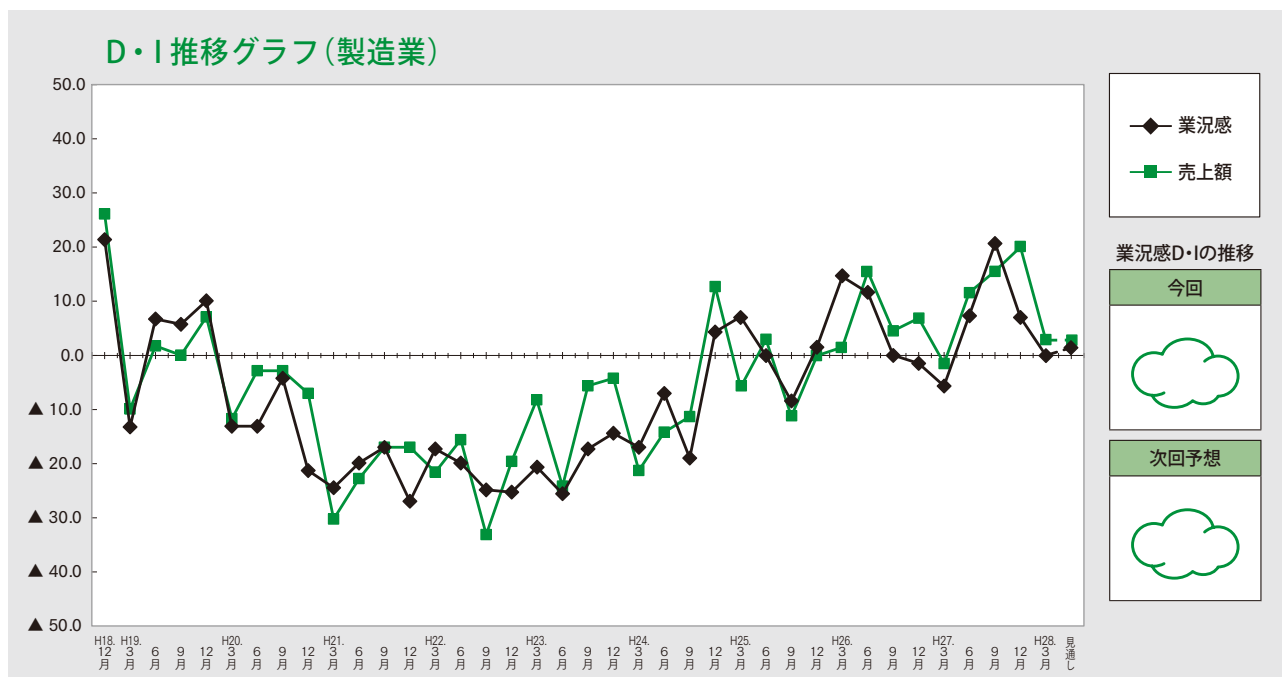


# 製造業

Manufacturing

# 2期連続で業況感が悪化



## 1 今期 (平成28年1 - 3月期)

今期の製造業の業況感は、0.0(前期7.1)となり、前期比で7.1ポイント悪化した。平成27年9月期には、調査開始以降2度目のD I値20.0超となったものの、前期・今期の2期連続で大幅にD I値が悪化した。

今期の製造業は、多くの項目において悪化幅が著しく、売上額減少、販売価格の低下、在庫環境の悪化等の要因により、収益D Iも前期比15.7ポイント悪化と大きく低下している。

## 2 来期の予想 (平成28年4 - 6月期)

来期の業況感は1.4まで上昇する見込みであり、今期から1.4ポイント改善する予想となっている。

今期が大きく悪化した影響からか、来期は業況感のみならず多くの項目で改善または横ばいという予想となっており、景気の持ち直しが期待されている。

## DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H27.3月期	H27.6月期	H27.9月期	H27.12月期	H28.3月期	来期見込み
業況感	▲ 5.7	7.1	20.3	7.1	0.0	1.4
売上額	▲ 1.4	11.4	15.7	20.0	2.9	2.9
収益	▲ 11.4	10.1	10.1	14.3	▲ 1.4	▲ 1.4
販売価格	8.6	8.7	8.6	11.4	2.9	7.1
仕入価格	▲ 24.3	▲ 31.9	▲ 15.7	▲ 18.6	▲ 12.9	▲ 11.4
在庫	2.9	0.0	5.7	2.9	▲ 8.6	0.0
資金繰り	▲ 14.3	▲ 12.9	▲ 4.3	▲ 7.1	▲ 20.0	▲ 17.1
人手	2.9	15.7	10.0	18.6	10.1	13.0
設備状況	10.0	5.7	12.9	15.7	15.7	17.4

## 業況調査メモ

ものづくりには製品化に関わる技術系の人材だけでなく、まだ世の中になくものを考えたり、消費者に受けるデザインを考えるなどの広い視野と柔軟な発想力を持った人材の確保・育成が重要だ。鹿児島県内の企業の場合、そんなクリエイティブな人材が不足していることが指摘されている。鹿児島市は16年度予算の新規事業として、首都圏に集中している有能な人材を誘致し、クリエイティブ産業の集積促進に乗り出す。具体的には、1週間程度の試行的な滞在宿泊場所の提供、移住経費や事務所改修費の助成などを行うことにしている。県内の製造業もこうした人材を大いに活用していきたい。